

団体監督・個人引率責任者連絡会資料

令和8年6月9日（火）
北海道高体連テニス専門部

下記の事項は、5月29日（金）に行われた北海道高体連テニス専門委員会で確認されたものです。

1 選手変更・登録順位変更等

選手変更・登録順位変更については要項にあるとおりとする。その他は下記のとおりとする。

(1) 個人戦のシード選手に変更が生じた場合

- ① シード選手の変更がある場合は要項にある通り対応するが、リドロー（組み合わせのやり直し）は行わない。
- ② 第1シードから第8シードの中で1本が欠場した場合は、欠場した選手のシードの場所に第9シードの選手が第9シードとして入り、そのために生じた空いた場所には、欠場した支部の選手がラッキールーザーとして入ることができる。
- ③ 第1シードから第4シードの中で2本以上が欠場した場合は、欠場した選手のシードの場所に下位のシード選手（第9シードの選手を含む）を詰めて移し、そのために生じた空いた場所には、欠場した支部の選手がラッキールーザーとして入ることができる。
- ④ 第1シードから第4シードの中で1本が欠場したのに加え、第5シードから第8シードの中で1本以上が欠場した場合は、第1シードから第4シードで欠場した選手のシードの場所に第9シードの選手が第9シードとして入り、そのために生じた空いた場所と他の空きシードの場所には、欠場した支部の選手がラッキールーザーとして入ることができる。
- ⑤ ダブルスにおいて、選手を組み替えての選手変更はできない。

(2) 登録順位やオーダーの間違いについて

参加申込書の「登録順位や試合のオーダーに間違い」があったまま試合が行われた場合、間違いの発覚が試合中である場合は、発覚した時点で該当校を失格とし相手校を勝者とする。試合が終了した後で発覚した場合、該当校は失格となるが間違いのある試合での敗者を勝者とすることはない。

※試合中とは、オーダー用紙交換から試合終了の挨拶までを指す。

※なお、この間違いの責任は全て、「間違った登録順位やオーダーを提出した該当校が負う」こととする。

※全道大会出場時の「個人戦シングルスの結果に応じた団体登録順位の変更」や「秋季大会での団体オーダー提出時（特にダブルス）」の際に起こりやすいので、注意が必要である。

(3) リタイア（RET・棄権）について

- ① リタイアした選手は、それ以降の同日・同種目の試合には出場できない。（R6_9_20確認）
- ② 「リタイアした選手は、同日・同種目の試合には出場できない」の扱い
 - ・団体戦でリタイアした場合は、同日は出場できない（翌日は、医師の判断によって可能とすることもある）。
 - ・個人戦についてはリタイアした選手は同種目の試合には出場できないこととする。

2 試合における注意事項

選手・監督・引率責任者はプログラム pp. 8～9の競技注意事項および以下の内容を確認すること。

- (1) ポイント間の時間は25秒以内とする（プレーが終わった瞬間から25秒以内に次のプレーを始めなければならない）。また、エンドチェンジの時間は90秒以内とする（選手は60秒以内にベンチを離れ、90秒以内に次のプレーを始めなければならない）。
- (2) スコア表示の入れ替えは、1ゲームが終わるごとに選手が行う。
- (3) スコアの誤りは、間違いが確認できるポイントを訂正し、正しいポイントで試合を再開する。
- (4) ミスジャッジに関する対応は、現行の「競技注意事項」どおりとする。
 - ・選手・監督は試合中の事実問題に対し、一切提訴することはできない。
 - ・選手は審判のアナウンスを確認したうえで試合を始めなくてはならない。
 - ・各ゲームや試合の終了後は、スコアの訂正は一切行うことはできない。
- (5) ボールチェンジは、紛失または空気が抜けているもの以外は一切行わない。
 - ・紛失時は、1球のみ紛失したものと同等のボール（使用済みのボール）を補充する。
- (6) 以下の行為があった場合は、その場で注意指導（確認）をしたうえで、試合終了後に選手・顧問に対して指導を行う。
 - ・目に余る用具（ラケット・ボール等）の乱用
 - ・相手選手への威嚇挑発（相手に向かってのガッツポーズや相手に向かっての「カモン」の言動等）
 - ・審判への暴言
 - ・応援のマナー違反（**6 応援における注意事項**に該当する行為）
- (7) 校名札がついていない場合は、確認し次第（行われているポイント終了後）すぐに注意指導し着用させる。違反ウェアに対しては、試合後に指導し、次の試合までの間に着替えさせる。
- (8) ウォームアップウェアを許可する場合は緊急避難的な状況なので、ロゴやウェアの生地については寛容な対応をとる（チームウェアとしてのジャージは着用可能）。ただし、スウェットのパーカーは、トレーナーとして認めない。
- (9) コンプレッションウェアは上下ともに着用可能であるが、長袖Tシャツ型は不可（テニスウェアの下に着るのは可能）とする。ただし、ロゴの大きさに注意する。
 - ※ゲームシャツに校名ロゴを入れることは認められている（ゲームパンツには校名不可）。
- (10) 個人戦では、1ゲーム後のベンチでの休息はできない。
- (11) 団体戦において、ベンチに入れるのは、監督または登録選手のどちらか1名のみとする。
 - ※男女両方の監督が同一であり、同じ時間に試合が行われている場合は、本部に申し出て許可を得た上で引率責任者がベンチに入ることができる。
 - ※引率責任者がベンチに入った場合は、その対戦すべてにおいて監督はベンチに入ることができない。
 - ※引率責任者が選手紹介のみでベンチに入らなかった場合は、その対戦の途中からでも監督はベンチに入ることができる。
 - ※ベンチコーチのプレー中の移動や、他のコートへの応援・コーチング等は厳に慎むこと。
- (12) メディカルタイムアウトでは、監督や他の選手による手当ては可能であるが、コーチングは不可である。
- (13) オムニコートのコート整備は必要に応じて行う（試合ごとに整備することは不要）。
- (14) 判定は、相手にはっきりと分かる声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後速やかに行う。
- (15) 主審のカウントアナウンスのタイミングは、ポイント終了直後とする。
- (16) シングルス試合において、ボールパーソンは1名付けることができる。

- (17) 日没による試合の中断は、原則として偶数ゲーム終了後とするが、状況を見て判断する。
- (18) 天候不良や不意の出来事による試合の中断は、その時行われているポイントで打ち切る。
※ラリーの途中で打ち切った場合は、そのポイントはレットとして扱う。
※雨天で順延した場合、濡れたボールでもそのまま使用する。蓋を開けておくなどする。
※レフェリーが、日没や悪天候などにより試合中のコートの使用が難しいと判断した場合は、試合中であっても、ポイントの切れ目でコートを移動させて試合を継続させることがある。
- (19) 試合中に大声等、相手の選手や周囲の試合中の選手への配慮を欠く行為を禁止する。
- (20) スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は認められない。

3 1日の試合数について

一日の試合数は、シングルスのみの場合は7試合、ダブルスを2試合以上行う場合は8試合を最大とする。ただし、当該選手とその引率責任者の承諾がある場合は、試合を追加することができる。

4 試合と試合との間の休息について

試合が連続する場合、3試合連続までは次の試合は「前の試合の終了時から10分以上あける」こととする。また、試合の間隔が短時間（10～15分程度）で、4試合連続となった場合は、当該選手の申し出により、食事をとるために「前の試合の終了時から30分以内」の休息をとることができる。

5 選手と審判が同じ高校になる場合について

選手と審判が同じ高校になることは避ける。試合順やコートの変更で対応できない場合は、当番校または当番支部が別途準備をする。

6 応援における注意事項

選手への応援は試合前練習時、及び試合中のポイント終了時から次のサービスのモーションに入る前までの間とする。

※サービスのモーションに入ってからからの応援は一切できない。

※必要に応じて、大会中RUから注意指導をする。

(1) ファーストサービスとセカンドサービスの間の応援はできない。

(2) コーチングと判断される応援はできない。

× 「前に出ろ」「ロブを使え」「もっと振りぬけ」「足を動かせ」など、技術や戦術をアドバイスしていると判断されるもの。

○ 「ナイスショット」「ガンバレ」「先リード」「ポイント」「もう一本」などの言葉。

(3) 歌による応援、連呼による応援はできない。

× 「いっけー いけいけ いけいけ△△」 → 「いっけー いけいけ…」と続くもの。

○ 「△△ 一本 先リード」 → 全員で「先リード」など。

(4) ポイント間だからといって、いつまでも何度も声をかけて応援することはできない。

(5) 試合をしている選手の集中力をそがないように配慮すること。

(6) ダブルフォルトやミスショットに対する拍手はしないこと。

(7) 隣コートへの状況に十分配慮すること。

7 開会式・表彰式等の服装

開会式、閉会式等の服装は、チームウェアまたはテニスウェアとし、テニスシューズを履き、脱帽とする。ただし、チームウェアをそろえていない場合は、それに準じた服装でもよい。

8 全国大会への出場枠

- (1) 男子：団体1校、ダブルス3本、シングルス4本
- (2) 女子：団体1校、ダブルス2本、シングルス3本

9 団体戦の組合せについて

- ・団体戦の組合せ抽選会は開会式後に行う。
- ・第3シードと第4シードの位置を抽選し、その後フリー抽選とする。
- ・組合せ抽選会には、第1シードと第2シードを含む全チームのキャプテンが参加する。
※抽選会へはスマートフォン等の持ち込みを禁止する。
※スムーズな抽選実施のため、抽選会への参加は各チームのキャプテンのみとし、監督や引率責任者の参加は認めない。

10 大会スケジュールについて

(1) 大会1日目：6月10日（水） 団体戦・個人戦ダブルス

- ① 最初の試合（男・女1R1～1R4）の学校は8時20分までにオーダー用紙を本部まで提出すること。
※前日に団体戦の組み合わせ抽選を行うため、オーダー提出までに練習をしたい学校は、練習入れ替えで対応することとし、変更は各学校の責任で行う。
- ② 審判にあたっている学校は、8時55分から9時の間に、本部まで審判の道具を取りに来ること。
- ③ 選手は、9時05分までにコートに集合する。
- ④ 9時10分から開会宣言を行い一斉に開始、挨拶をする。
※選手・審判は、小さい番号のコートに整列し本部側を向いて待っていることとする。
- ⑤ 11日（木）の一回り目の予定は、ホームページにアップする予定。

(2) 大会2日目：6月11日（木）（団体戦）・個人戦ダブルス・個人戦シングルス

- ① 団体戦がある学校は、8時20分までにオーダー用紙を本部まで提出すること。
- ② 団体戦の審判にあたっている学校は、8時45分までに、本部まで審判の道具を取りに来る。
- ③ 個人戦ダブルスの一回り目の試合の選手は、8時50分に本部に集合する。審判は直接コートへ向かう。
- ④ 選手は、8時55分にはコートに入り、集まり次第開始する。
- ⑤ 12日（金）の一回り目の予定は、ホームページにアップする予定。

(3) 大会3日目：6月12日（金） 個人戦シングルス

- ① 団体戦、個人戦ダブルスの表彰は、個人戦シングルスと併せて、閉会式で行う。表彰該当校で、学校事情等で先に帰る場合は、本部に連絡する。
- ② 個人戦シングルスの一回り目の試合の選手は、8時50分に本部に集合する。審判は直接コートへ向かう。
- ③ 選手は、8時55分にはコートに入り、集まり次第開始する。

11 その他

(1) 団体戦の試合進行について

- ・D→S1→S2の順で試合を行う。
- ・男子は2・3・5～10コート、女子は11～18コートを使用することを基本とする。
- ・使用するコートは、試合進行上レフェリーの判断で変更することがある。
- ・初戦の試合は2面展開で行う。
- ・男女とも、初戦は試合番号1～4を行う（審判はシード校）。
- ・空いたコートで次の試合ができる場合は、挨拶を行いDの試合を行う。

※この時の審判は前の試合から引き続き行ってもらうこととし、前の試合の試合が終了後、RUが立会いのもと試合の区切りの良いところ（1ゲーム終了後等）で、敗者校が引き継いで審判を行う。

- ・審判は一つのチームが、一つの試合（D、S1、S2の3試合）を行うことを原則とする。
- ・どちらかのチームが初戦の場合はすべて行う。その後は打ち切りとする。

(2) 審判用紙等の受け取りについて

- ・団体戦は、審判が本部で審判用紙・ボールを受け取り、審判が試合結果を本部に届ける。
※試合を行う選手は、アナウンスに従いコートに直行する。
- ・個人戦は、両選手が本部で審判用紙・ボール等を受け取り、勝者が試合結果を本部に届ける。
※敗者はコートに残り、次の審判を行う。
- ・団体戦試合開始のときは、両校選手・監督はサーブラインに整列し、監督がオーダーに従って選手を紹介する。選手は互いに相手を確認し、試合の相手を間違えないように試合を開始する。すべての試合が終了したら、もう一度開始時と同様に整列し、挨拶をして終える。
- ・各試合終了時は、両選手ともに審判へ感謝の気持ちを込めて挨拶をすること。

(3) 個人戦の開始について

- ・団体戦で入る試合がなくなり次第、個人戦ダブルスを入れていくが、団体戦の試合が残っている選手の試合は行わない。

※10日（水）、個人戦ダブルスのNBを13時とする。

- ・個人戦ダブルスで入る試合がなくなり次第、個人戦シングルスを入れていくが、個人戦ダブルスの試合が残っている選手の試合は行わない。

(4) 今大会はすべて1セットマッチとする。

(5) RUについて

審判を行っている学校の監督（監督が教職員でない場合は引率責任者の先生）が、その試合のRUとなります。何かあった場合は、審判ハンドブックに従い対応してください。または、専門部のRUやアシスタントレフェリーを呼んで下さい。何か対応した場合はレフェリーに報告をお願い致します。

12 第66回北海道高等学校テニス選手権大会 組合せ抽選資料

(1) シードの確認

【男子団体】 1位 札幌光星 2位 北科大高 3・4位 北海・札幌日大

【女子団体】 1位 札幌光星 2位 帯広大谷 3・4位 北星女子・開成中等

【男子シングルス】 令和7年全道 ベスト8 札幌（7）、室蘭（1）

【女子シングルス】 令和7年全道 ベスト8 札幌（6）、十勝（2）

【男子ダブルス】 令和7年全道 ベスト8 札幌（6）、室蘭（2）

【女子ダブルス】 令和7年全道 ベスト8 札幌（5）、函館（1）、十勝（2）

(2) 組合せ抽選の順

【団体戦】 ※初戦で同じ支部の出場校が当たらないことを確認しながらの抽選となる。

- ① 第1シード～第3・4シードを置く。
- ② 出場校数の多い支部から、順位が上の学校から主将が引く。
- ③ 初戦が同支部の試合となった場合、後から引いた学校の主将が引き直す。

【個人戦】 ※初戦で同じ支部の出場校が当たらないことを確認しながらの抽選となる。

- ① 第1シード～第8シードを置く（3～4、5～8シードは抽選）。
- ② 出場校数の多い支部から、順位が上の学校から支部専門委員が代理で引く。
- ③ 初戦が同支部の試合となった場合、後から引いた学校を引き直す。

<20240920 令和6年第2回北海道高体連テニス専門委員会記録より>

- ① 前年度の個人戦ベスト8に入った選手がいる支部にシードを与える。
- ② 北海道大会出場者を対象とし、北海道ジュニアランキング（5月末の専門委員会議時点）に基づき、①の支部のシード位置を決定する。
- ③ ②の支部のシード位置には、各支部予選の結果の順で選手を決定する。
- ④ ③で決定した選手について、第1シードと第2シードは固定とし、第3・4シード、第5～8シードを抽選にて決定する。

※個人戦ダブルスは、ペアのランキング順位の合計にて②の支部のシード位置を決定する。

(3) 抽選会の進行

内山（レフェリー） 岸本・杉本（アシスタントレフェリー）

川口（全国常任委員・アシスタントレフェリー） 堀口（ディレクター・アシスタントレフェリー）

【男子】○山崎、矢澤、竹内、長田、伊藤

【女子】○北條、志部谷、大橋、斉藤

【記録・報道】田中・小田切

1.3 団体戦の第1試合のオーダーオブプレー

(1) 男子団体戦

	2	3	5	6	7	8	9	10				
SA9:00	団男1R1①	団男1R1②	団男1R2①	団男1R2②	団男1R3①	団男1R3②	団男1R4①	団男1R4②				
9:50	団男1R5①	団男1R1③	団男1R5①	団男1R6①	団男1R2③	団男1R6①	団男1R7①	団男1R3③	団男1R7①	団男1R8①	団男1R4③	団男1R8①
10:40	団男1R5②③	団男1R5②③	団男1R6②③	団男1R6②③	団男1R7②③	団男1R7②③	団男1R8②③	団男1R8②③	団男1R8②③	団男1R8②③	団男1R8②③	

【審判】

2・3コート：札幌光星、5・6コート/7・8コート：北海/札幌日大、9・10コート：北科大高

(2) 女子団体戦

	11	12	13	14	15	16	17	18		
SA9:00	団女1R1①	団女1R1②	団女1R2①	団女1R2②	団女1R3①	団女1R3②	団女1R4①	団女1R4②		
9:50	団女1R5①	団女1R1③	団女1R5①	団女1R6①	団女1R2③	団女1R6①	団女1R7①	団女1R3③	団女1R7①	団女1R4③
10:40	団女1R5②③	団女1R5②③	団女1R6②③	団女1R6②③	団女1R7②③	団女1R7②③				

【審判】

11・12コート：札幌光星、13・14コート/15・16コート：北星女子/開成中等、17・18コート：帯広大谷